

サ・ク・ラ・サ・ク!4th

(最高学年、苦楽を糧に、さあ、クライマックス!)

上野高校進路指導部随通信 (3年生 家庭配布版) vol.12 2014/1/20

1 センター試験終了。見るのは前だけ!

センター試験が無事終了しました。皆さんは自分の力を存分に発揮することができましたか?今週末には自己採点の結果が返ってきて、週明けには国公立大学の出願です。私大の一般入試も目前です。

さて、今日の自己採点の結果はどうでしたか? 「うーん…」となってしまったあなた。ここで弱気になってはいけません。ここまで苦しい思いをしてやってきたのです。原則第一志望貫徹です。今すぐ気持ちを切り替えて、机に向かいましょう。自己採点で「よっし!」となったあなた。油断は大敵です。あなただけができたとは限りません。決して気を緩めることなく、勉強に励みましょう。

2 3学期…主体的な学習習慣が今まさに問われる!

- In'13 合格のチケットより (掲載 34人)
- 冬休み以降の学習時間…9時間以下 9人 10時間 17人 11時間以上 8人。
- 国語: 記述問題は先生に添削してもらうのが理想。自習する場合は場合は解説を読んで絶対に外せないポイントを絞ってから答え合わせをする (同志社大学)。
- 数学: “Focus up” 1回やるだけでなく、2, 3回と同じ問題解き直す (室蘭工大)
- 英語: 長文を読む時、パラグラフごとのあらすじを横に書くようにしました。授業で使ったライティングのテキストを2周して表現を頭に入れました (神戸大学)
- 化学: 自分に合った問題集1冊を繰り返しやる。大阪市立大学)

このアンケートによると、センター試験以降は、7割以上の方は10時間以上勉強しています。筆者(富澤)はこの時期、国立二次試験の時間帯にあわせて国数英の演習を行い、午後からは間違っことや抜け漏れの復習、気分転換に私大向けの世界史をこなしました。学校同様に休憩を入れながら、本番で解答できる力を養う学習を心がけました。ご飯以外の時間は勉強していました。

家で勉強する、学校の特編授業をとる、塾へ行く、先生に質問する、3学期の過ごし方は様々です。大事なことは「受験するのはあなた、あなたがその大学に行きたい」ということです。学校や塾で入試にでるところだけ教えてもらおうとか、受け身の姿勢で合格を勝ち取ることはできません。みなさんの多くはすでに第一志望校の過去問を研究し、出題形式や出題頻度の高いジャンルを見極めてはいるはず。類題

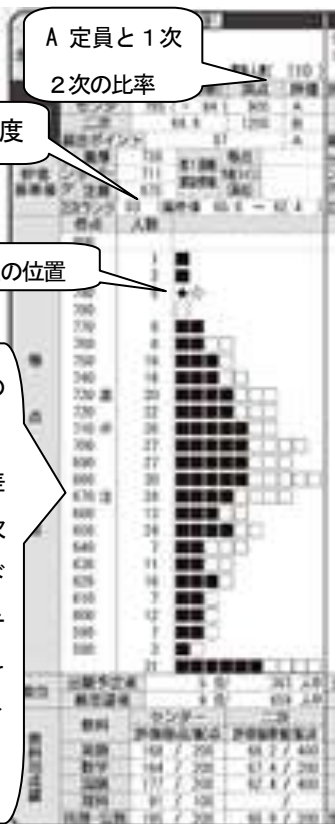
をやり込んだ上で、自分で解決できないことを先生に質問してください。先生に教えてもらうのではなく、先生に挑む意識で、皆さんが授業に臨むことを期待しています！

また、河合塾の塾生アンケート（2009年）、「睡眠時間は1日平均何時間？」の質問には、平均で6.4時間、6時間と7時間をあわせて64.4%でした。焦る気持ちからついつい睡眠時間を削って勉強しても疲れた頭では効率よく勉強できません。体調を崩さないためにも、睡眠時間はしっかりと確保しましょう。



二次・私大試験突破には本番を意識した学習と生活リズム

3 第一志望の重み…強い意志が合格を引き寄せる！



1/27(月)から国公立大学の出願が始まります。初心に帰って、自分のやりたいこと、学びたいことを考え、悔いのない大学選びをしてください。出願締め切りは前後期とも2/5(水)です。「当日消印有効」か「郵送必着」か、注意してください。

金曜日に返却される「センターリサーチ」では、あなたが志望者の中で、定員内ならどの位置にいるか、定員外ならボーダーに何点足りないのかを見ます(左図)。受験はかけ算(倍率)ではなく足し算(合格に必要な点を取る)です。過去問を解いて、とれた点数と志望大学の合格平均点と比較します(最低点と比較してはいけません。余裕で合格できるぐらいの点数が目標です)。もし足りないならどの教科で何をすべきかを考え、学習計画を立てましょう。「スクルテ」で培った「計画する力」が発揮される時です。

筆者は上野高校に来てから毎年三年生の指導をしています。国公立前期、D判定から合格した生徒もいれば、センター試験の点数で志望変更したのに不合格だった生徒もいます。受験は「水物」です。努力したからといって必ず報われるものではありませんが、合格した人は必ず最後まで努力しつづけていました。

「私は大学にどうしても行きたい、だから勉強する」です。受験は「その学校に合格したい！」という人たちの気持ちのぶつかり合いです。あやふやな気持ちで出願したらあやふやな勉強しかできません。センターの結果で志望変更をする場合も、納得した上で出願しましょう。出願すればその大学が第一志望です、何としても合格しましょう。

また、後期は前期の結果で倍率が激しく変化します。実質2~3倍ですから必ず受験しましょう。後期のために勉強する時間はほとんどありませんから前期の勉強がものを言います、前期試験にしっかり取り組んだ人に最後のチャンスが後期で巡ってきます。あなたの強い意志が合格を引き寄せるのです！



自分の限界に挑戦し、悔いのない高校生活を送った人に栄冠が輝く！